

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場文書広報課編集

電話 (01885) ② 代 2100 番

印刷所 湖 東 印 刷 所

電話 (01885) ② 2430 番

一部 35 円 郵便番号 018-17

毎月 1 日・15 日発行

緑の町づくりに私も一役



大いなる未来につなぐこの緑

— 人気のあった緑のプレゼント —

千本の苗木たちまち

五月十一日、五城目町・五城目営林署・五城目森林組合の共催で全町植樹祭が行われた。植樹祭の行われた場所は、町を東西に貫く中央線通りの植樹帯で二二〇人ほどの参加者によって、七十五本のケヤキが植えられた。当日は、みどりのプレゼント会も企画されたところ、町内のみならず多数おいでになり、用意していた千本の梅の苗木もたちまち品切れとなるほど人気があった。

木々のたたずまいが楽しみ

この町の本格的な街路樹地帯はこれで四路線となった。広ヶ野・下山内線・山手線・雀館線・それに中央線である。

中でも広ヶ野・下山内線は、田町側のプラタナスの並木、希望ヶ丘側の桜並木が見事である。濃い緑の衣に包まれるこれからの季節が楽しみだ。

樹木のあるところにはよく鳥たちが集まってくる。鳥たちにとっては、餌(えさ)の探る場所であり、かくれが(護身)になり、休眠(休養)をとる場所ともなる。

町中に木や花が多くなると、それを取りまく昆虫が非常に勢いで多くなるという。これらの昆虫は小鳥の餌となり、その繁殖を支えるという自然の営みを展開する。

街路樹がすべてこの条件を満たすとは言えないにしても、植えられた木々は四季折々にそのたたずまいを楽しませ、町中に鳥のさえずりを呼びこんでくれることは確かである。

かけがえのない緑を大切に

当日、緑の少年団優秀作文の朗読があった。富津内小学校六年御所野佳子さんは、両親と植樹しながら「水源のかん養」を学んだと述べた。また、五城目第一中学校二年斉藤そのみさんは、山火事防止と、近代化される環境の中で、かけがえのない緑を大切にしたいと呼びかけた。

私たちのくらしの中から、緑と鳥のさえずりを取り除いた自然を思ってみるとき、いかに索漠(ぼく)たるものになるかは論をまたないであろう。

植樹祭の機会に「大いなる未来につなぐこの緑」を育てる意義についてみんなで考えてみたい。

晴れの叙勲に八柳さん

認められた39年間の消防活動

五十六年春の生存者叙勲は、四月二十九日に発表され、関係の受章者は六十三人であった。当町からは、消防の分野で功績のあった八柳兼蔵さん(大川)が、晴れの叙勲に輝いた。八柳さんは、昭和五年から三十九年間消防活動に精励しており、その永年の功績が認められ、勲六等単光旭日章の受章となったものである。

受章者は、五月十五日、東京有楽町の第一生命ホールで行われる消防式に出席した後、皇居において天皇陛下の拝えつを賜ることになっている。

▽勲六等単光旭日章

八柳 兼蔵(72) 大川



昭和五年に大川村消防組消防手になり、三十四年から十一年間、五城目町消防団副団長を勤め、四十五年消防団を退いた。

昭和二十三年、大川村消防団第一分団の班長に就任した。当時は全村で腕用ポンプ二台だけという貧弱な消防力であった。これを改善するため、ポンプの機械化を提唱し、二十八年に大川村最初の三輪自動車ポンプを購入するなど、消防体制確立のため努力した。

昭和三十年に機械化の実現と卓越した消防技術が高く評価され、分団長に抜てきされた。さらに、三十四年には副団長に就任。この

間、貯水槽や消化栓の増設を図るなど、消防水利設備の整備強化にも卓越した手腕を発揮した。

昭和三十三年、大川の分町問題がおこったとき、大川地区隊副隊長として、また隊長代理として陣頭指揮にあたった。中立の立場を貫き、住民投票が終るまで昼夜の別なく消防舎に勤務し、部落内の巡視警戒にあたった。また、五城目地区隊と大川地区隊連合の消防

訓練を行い、消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の不安感をとり除くことに努めた。

大川地区隊長に就任した昭和三十四年は、一町四カ村の消防団が合併してまもないときであり、上級幹部があまりにも多いという組織体制になっていた。これを指摘し、改善を推し進めた業績は大きい。その結果、四十二年度から逐次改革され、現在に至っている。

さらに、単一消防団の活動だけでなく、秋田県消防協会男鹿南秋支部幹事、湖東分会幹事を勤めるなど、広範な消防組織団体の指導的役割をこなして活躍した。

また、消防団の活動のほかに、昭和三十四年からは、大川土地改良区理事も勤めている。その間、水田の区画整理や暗渠排水工事の必要性を指摘し、関係官庁諸団体に陳情を重ねて、その補助金を確保した。その結果、数年来の懸案であった区画整理事業は四十三年に着工し、四十四年に完成している。

千田さんに

総理大臣表彰

このほど千田良次さん(58・岡本)は、国勢調査において功績があったとして、内閣総理大臣から表彰された。

千田さんは、戦後行われた国勢調査にはすべて従事している。また、国勢調査だけでなく、農林業センサス、商業統計、事業所統計など、ほとんどすべての調査員を



経験しており、その年数は三十年以上にもなる。

五城目高等女学校校舎 建設期成同盟会

(下)



わたしの教員生活

中村 清次郎



昭和二十四年九月、待望の独立校舎が、矢崎崎グラウンドの一部に完成した。しかし、新築校舎ではなく、小学校西側校舎六教室を移転したもので、高等女学校当時、に間借りしていた校舎である。それに宿直室、用務員室、便所などを増築し、職員室は教室の一つを使

い、九月九日から授業を始めた。講堂も特別教室もなく、朝の集会は廊下を使用し、晴天の場合は外で行った。卒業式場は教室で、窓を取りはらい、父兄は廊下におると言う、小さい狭い校舎であったが、独立校舎と言うので、生徒の喜びは、たとえようがなかった。それに、森山の山ふところ、桜並木のある広々とした元公認グラウンドが校庭であり、若い生徒が雄飛する絶好の環境であった。

期成同盟会は、独立校舎建設の目的は達成したが、こんどは、県立移管に向って、運動を展開することになった。そのための校舎増築、学校組織の改善等、町当局も積極的に県との交渉を進め、男女共学で、通科、林業科、家庭科を

設置する総合高等学校を計画して県に移管申請した。昭和二十五年七月一日付でこれが認可され、校名も「秋田県立五城目高等学校」と改め、長い間の苦闘が実り、五城目高等学校建設期成同盟会は、その年の十月一日に解散したのである。

昭和二十一年十月三十一日に結成された期成同盟会も、賛否両論の世論の中にあつて、終始一貫、その目的貫徹のための努力は、涙ぐましいもので、筆舌の尽し難いものがある。過去四か年に渡り、記録に残る会合だけでも五十回にのぼり、会合もほとんど夜に開かれ、時には十二時、一時、二時まで論戦することもあった。

このような運動を半ばに、委員の谷村養助氏、渡辺謙治氏の二氏が、他界されたことは誠に残念なことである。しかし、いち早くこの運動に共鳴し、その活動に参加して常任委員になった、斎藤庄一郎氏、泉谷時治氏のあったことは、期成同盟会の大きな力であった。

さらにまた、陰にこの期成同盟会をより立て、最後まで会の運動を援助された畑沢徳太郎氏の功績は忘れてはならないものがある。

今日、五城目高等学校が、県立高校の中で規模的に歴史的に、その中核をなしているが、その革創期を思い起せば、感無量である。

写真

建設期成同盟会の解散記念

(昭和25年)

簡易保険は 町づくりにも役立っています

簡易保険の保険料は、加入しているみなさんの将来の生活を保証するだけでなく、私たちの町づくりに役立っています。

五十五年度に、簡易保険から融資を受けて行った町の事業とその内訳は、次のとおりです。

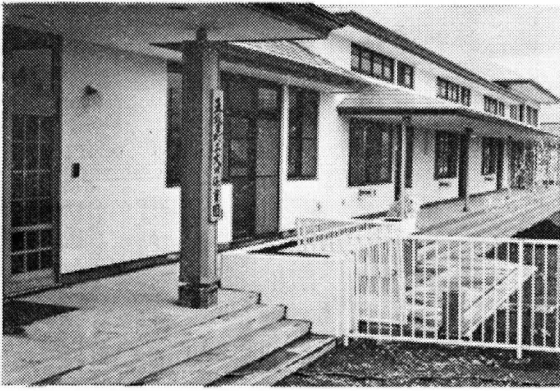
▽林道(用地)整備事業

(五秋線
五城目校線)

事業費 三六三万三千円
簡保融資額 二七〇万円

▽公営住宅建設事業

(広ヶ野団地)



国民年金の融資で 大川保育園完成

国民年金の保険料は、年金として支給されるまでの間、国の管理のもとで、福祉関係施設の整備や、体育施設の拡充などの事業資金として運用されています。

このほど完成した大川保育園は、1億6千707万6千円の事業費でしたが、そのうち国民年金から8千190万円の融資を受けました。

(写真) ゆったりとした間取りになっている大川保育園

事業費 七千七百六千円
簡保融資額 二千七〇万円

▽農業構造改善事業

(恋地かん排水路)

事業費 九五二万円
簡保融資額 二一〇万円

▽農村定住促進事業

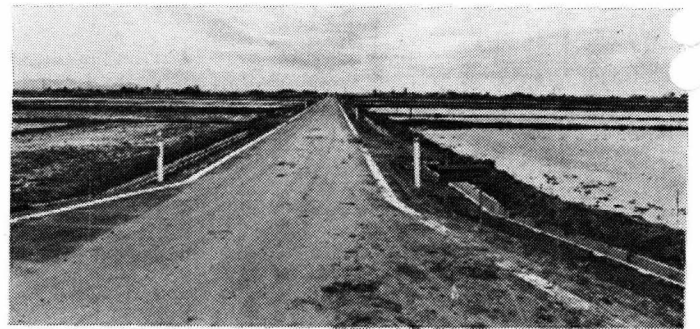
(上樋口・西野地区農道)

事業費 二千八七七万円
簡保融資額 六五〇万円

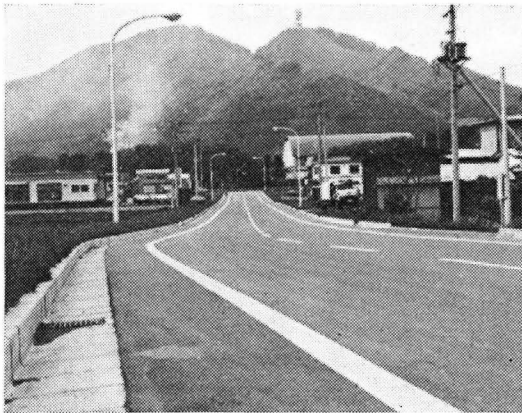
▽道路整備事業

(西野・矢場崎線)

事業費 八六九万八千円
簡保融資額 六五〇万円



高校生の通学路
道路整備事業による西野矢場崎線



花いっぱい運動

参加団体に無料で花苗

町では、町内をきれいにする運動の一環として、今年も「花いっぱい運動」を行いますので、町内会、学校、職場、団体、グループなどたくさんの方の参加をお願いします。

町の公民館では、サルビア、ベコニア、マリーゴールドの苗を用意して、この運動に参加を申し込

んだ団体、グループなどに、約二百本ずつ無料で配付するとともに花だんコンクールを行い、優秀なもの表彰します。

花だんは庭や空地を利用したものだけでなく、道路(沿道)の路肩や、ボックスによるものも奨励しています。

また「草花苗の銀行」を開設し各家庭、団体、グループなどで育てた余分な苗を預託してもらい、その苗を必要としている学校やグループなどに、無料で配付するよ

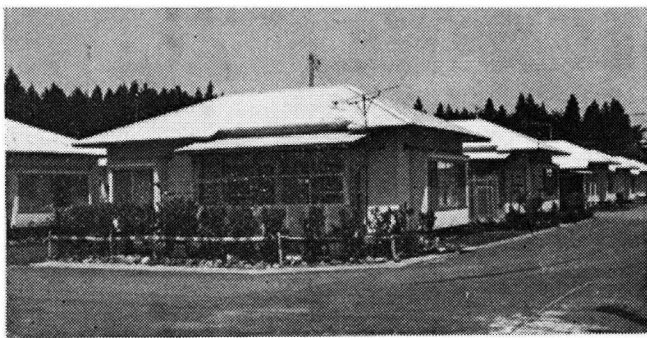
うにします。花いっぱい運動に希望する団体やグループなどは、町の公民館に申し込んでください。草花苗の銀行へ苗を預託してください。また、苗の配付を希望する方も同様に町の公民館へお願いします。

▽申し込み先 五城目町公民館

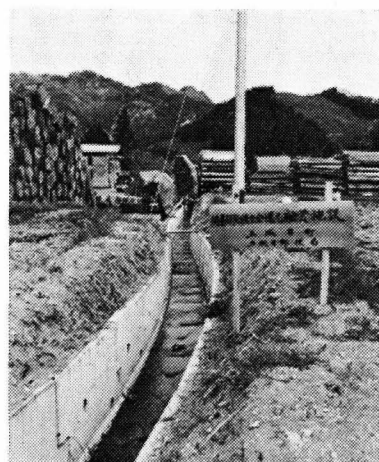
電話(2) 4411

5月25日

農村定住促進事業でできた農道は
上樋口と西野間を直線で結ぶ



公営住宅建設事業による
広ヶ野団地は新里町内会として
スタート



農業構造改善事業による恋地かん排水路



林道(用地)整備事業のひとつ五秋線

ゲートボール

運動公園広場で県大会

町内チーム上位入賞ならず

県内のチームを対象にしたゲートボール大会が、四月二十八日午前九時から雀館運動公園広場で行われた。

春季全県ゲートボール五城目大会として行われたこの大会は、今回が一回目であったが、県内の十五市町村から強豪三十二チームが参加した。また、六月下旬に横浜球場か後楽園球場で開催される東日本ゲートボール大会の予選も兼ねており、選手たちは真剣にプレイしていた。

午前中は、運動広場に設けられた八面のコートで予選リーグを行い、各コートの一位のチームを決めた。午後からは、それらのチームによる決勝トーナメントが行われた。選手はすべて六十歳以上であったが、予選リーグ二十五分、決勝トーナメント三十分の試合時間をむだにすることなく、きびきびとした動きでゲームを消化していた。



広場に設けられた八面のコートで熱戦を展開

町内からは六チームが出場し、五城目Aチームと大川Aチームが、決勝トーナメントに進出した。しかし、両チームとも一回戦で八郎潟チームに敗れ、上位入賞はならなかった。

優勝は秋田Cチーム、準優勝三位は、ともに八郎潟チームであった。この三チームは東日本大会に出場する予定である。成績は次のとおり。

▽一回戦

八郎潟A	40-15
五城目A	
秋田C	32-16
岩谷	

全県招待バレー

五一中女子決勝で敗れる

第十回男鹿南秋中学校バレーボール大会兼第七回全県招待バレーボール五城目大会は、四月二十五日、二十六日、広域体育館で男子九チーム、女子二十二チームが参加して行われた。町内からは五城目一中男女、富津内中と杉沢中の女子チームが出場した。

五城目一中の女子は、決勝まで進出し、応援にかけつけた学友や父兄たちを喜ばせたが、決勝で山王中に2対1で惜しくも敗れた。男子は準決勝で能代一中に接戦の末敗れ、決勝進出はならなかった。また、富津内中女子は一回戦で敗退したが、杉沢中女子がよく健闘し、準々決勝まで勝ち進んだ。試合の結果は次のとおり。

▽男子決勝

鷹巣中2	151615
	12189
1能代一中	

南秋中学校春季大会

卓球で大活躍の杉沢中

南秋田郡中学校春季大会は、四月三十日と五月一日、南秋の八会場で行われた。

杉沢中学校は、卓球男子団体で準優勝し、個人戦でも優勝と準優勝を同校選手が独占するすばらしい活躍であった。五城目一中は、団体戦で八種目に、個人戦でも五種目に優勝した。

また、富津内中の野球は、決勝には進出できなかったが、みごと三位に入賞した。

主な成績は次のとおり。

五城目一中

▽団体優勝

体操男子A	体操女子
剣道女子	卓球男子
排球男子	籠球女子
籠球男子	庭球男子

▽団体準優勝

体操男子B	柔道
庭球女子	

▽個人優勝

体操	小林 智
体操	工藤 真理

▽団体準優勝

卓球男子	
------	--

▽個人優勝

卓球	佐々木吉夫
個人準優勝	卓球 生 不守

杉沢中

▽団体準優勝

体操	館岡 潤
体操	伊藤真理子
剣道	小玉 洋史
剣道	松橋 美美
柔道	斎藤 歩(軽重量級)
庭球	小野・川村組

▽女子決勝

八郎潟B	29-18
秋田A	37-16
仙北B	
大川A	

山王中2

151116	61514
1	5
1	5
1	5

▽町内関係分

▽男子二回戦

五一中2	1515
	82
0	秋田南中

▽同準決勝

五一中1	61514
	151016
2	能代一中

▽女子一回戦

五一中2	1515
	37
0	琴丘中

杉沢中2

1515	96
0	八郎潟中

富津内中0

40	1515
2	船川中

▽同二回戦

五一中2	1515
	212
0	土崎中

杉沢中2

1515	64
0	北浦中

▽同準々決勝

五一中2	1615
	1410
0	常盤中

杉沢中0

96	1515
2	大潟中

▽同準決勝

五一中1	61514
	151116
2	男鹿中

高松宮杯レスリング

五高五年ぶりの優勝

第二十回高松宮杯東北高校レスリング大会は、五月二日、広域体育館で、東北各県から八校が参加して行われ、地元五城目高校が五年ぶり四回目の優勝を飾った。

この大会は毎年、本町を会場に行われており、県内からは五城目高校のほか、秋田商業高校と秋田経大附属高校が出場した。

▽三位決定戦

経大附	4-3
秋田商	

▽決勝

五城目	4-3
八戸工	

▽準決勝

五城目	4-3
秋田商	

八戸工

5-2	経大附
-----	-----

▽一回戦

五城目	4-3
東北工大電子工	

秋田商

6-1	上山農業(山形)
7-0	田島

八戸工業

5-2	宮古水産
	(岩手)

経大附属

5-2	宮古水産
	(岩手)

昨年優勝している光星学園(青森)が米国遠征で不参加であったとはいえ、五城目高校の優勝はみごとであった。

試合は七階級について行われ、各校のトーナメント戦で進められた。その結果は次のとおり。

広報文芸



《緑の少年団》

作文コンクール優秀作品 緑化推進について

五城目第一中 二年
斉藤 そのみ



今年も、花見のシーズンを迎えた。あちこちに、ふきのとうが顔をだし、すいせんが明るく咲き誇っている。どこを見ても、春の息吹が感じられるこのころである。そんな中で緑化推進について考えてみた。私達の住む五城目町は、たくさん緑に囲まれ、豊かな自然に恵まれている。この間、朝のテレビに、ある都市の公園の様子が映っていた。たくさん緑のビルが立ち並び、絶えまなく流れる自動車……。この市民は、朝のひとときをこの公園ですごすのだという。きっと、近代化された街の中で、ここは貴重な「緑の場」なのだろう。それを思うと、わが五城目町が「緑の多い町」であるということに大きな幸福を感じた。私は、昨年、全町植樹祭に参加した。そこでは、いくつもの知識を得ることができた。一つは、町や営林署が、緑化推進に大変な努力をしているということである。二つめは、自ら植樹したことによって、木の成長に長い長い歳月を要するということにしみて感じたことだ。植える時には、あれこれと考えるものであるが、何と言っても、自分の手にしている

苗木が、太く大きく育ってほしいと思った。それから、町長さんとお話になった。「木から発散される、テルペンという物質が人体に非常に良い影響を与えている」ということもとても印象に残った。

ここに、緑化推進について、回想してみたが、欠くことのできない山火事防止がある。山火事を防止するには、まず、たばこの吸いがらを必ず消すこと、たき火をした後は火の気が残らないようにする、空気が乾燥し枯れ草のある所では火を使わない、ということに注意したらよいと思う。

年々、近代化が進む中で、緑はかけがいのないもの、みんな大切にしたいものである。今は、小さな木でも、いつかは大きな緑となることだろう。だから私達は、たとえ小さくても、緑を愛する心を忘れてはならないのだと思う。最後に、五城目町がいつまでも「若草色の五城目町」であることを願っている。

五城目短歌会 四月例会

雪折れの林に今日も孫と来て傾く杉に縄を張りあう 田中 芳朗
薊かたくりこごみも出でて十日日(とおかび) 佐藤 流水
この春より思いもよらぬ死が過ぎき盡極車今 松橋 花喬
日も日にみかけし 山平 富士
少女期よりなじみし店の大鏡姑となりたる 飯塚定四郎
れを写せり 泉谷 時治
風にゆれ波にゆれいる浮木見つと揺る想い 伊藤 泰子
にわれ忘れいき 泉谷 時治
北海の海渡り来て旅をする直ぐなる道路果て 伊藤 泰子
なくつづき 伊藤 泰子
ひかり号にふいに現われ晴れわたる四月の富 伊藤 泰子
土は輝くばかり 伊藤 泰子
かたまりて水底にをる姫鯉か早春の 十和田波
光りぬ 佐藤 栄子

川柳 すずむし 四月号

「雑詠」

映の田に葦は真白く芽吹きそめ自然の理ある 斉藤 諒一
もの輝き
「オオナゴ」と亡き父呼びし向い山地名の辞 阿部 みわ
書にありて驚く
ひたすらに今を生きよと咲き満てる花影の下 山口 明子
娘と別れし
五十年を夫で妻で暮らしたる想い出たどる妻 工藤 上山
亡き日々に
床の間に羽ひろげいる大鷲がなにもうつらぬ 土橋 茂徳
義眼(いれめ)でにらむ

義理あつて中間色の旗を振る 加藤 円心
裏切りの靴とも知らず靴磨く 細田 陽炎
残り火が燃える今宵はおぼろ月 本庄 湖水

作文コンクール優秀作品 空に青雲山々緑

富津内小 六年
御所野 佳子



「あえー、つかれた、つかれた。こんだになんげして植えて、おら生でいるうちにぜんこでもなるもんだべし、」とうさん「やめだほうえだや」と、山のふもとからスギ苗を運んできた母がいった。ひたひたの汗をうでにまいたテコウでふいている。無理もない考えだと思ふ。

たばこをすってひと休みしていた父が「なにいてるでー。ぜんこはして植えているのでにや。」こぼして植えているのでにや。

今植えておかにやば、沢の水がかわれると思つてなんざしてゐるのだでや。去年の夏だつて水不足で、田のイネが枯れたたべー」といって、すいかけた人たばこをうでに力を入れて、どんと捨てた。

父も母も無言のまま、また仕事を始める。わたしは父のほった穴に苗をくぼる。母は苗木ぎをよぎよく直立させて、根本に土を寄せる。周りの空気がだんだん重くなつてくるような気がする。

山はかなりのけいしやをしていて、去年の秋、父が毎日かよつて地ごしらえしたので、仕事の能率がある。今日、これまでで「今日、夕方早めに仕事をしておて山をおりた。」

帰り道、わり山峠で車をとめておける。峠から西に広がる山々をながめながら、春のなまあたか風が、そつとほおをなでて通りすぎた。さわやかな気分になる。

父は、「戦争のとき、むちゃくちゃ、木を切ったものだ。昔は大森林で、大木がならんでいてあったでや。みんなはげ山になつてしまったな」と、だれに言うともなしに、山に向つて語っていた。

こんどは峠にたつた記念に目をうつして、「空に青雲山々緑か、いい言葉だ。佳子読んでみれ」と言った。父の顔はほほえんでいる。母も記念ひに寄つてきた。母も、わたしも、つぶやくように、「空に青雲山々緑」と読む。

父の植林の方針は、木を育てて切り、それをうって現金にかえるのではない。一本でも多くの木を植えて水源のかん養を図ろうとしていることがわかった。戦中戦後の乱暴つであれはうだいに山を植えるため、父は必死になつて木を植えている。

母は山で言ったことを反省しているようだ。「佳子の時代になつても、木はひとりめやに(ひとり前)、ならにやべもの……。やつぱり心(心配)なのは沢この水だでやなあー」と、記念ひを見ながら言った。明日は、父と母が二人だけで木を植える。心配してしたが、もうだじようぶ。なごやかに作業はすすめられるだろう。夕日は、西の空に深くかたむいた。あかね色の光が空いっぱいになり、明日のよい天気を約束してくれている。

俳句 黛吟社 四月号

洗濯の白さをたたんでいる平和 渡部 升
行間を読めば果てない体験記 渡部 升
気休めに聞いた易者をまだ信じ 渡部 升
応接間義眼の鷹に見降ろされ 渡部 升
策謀にひっかけ黒い血が嘲笑う 渡部 升
その先はともかく今日と言う戦さ 渡部 升
五線譜を歩くおんなのあで姿 渡部 升
故郷訛り他人と思えぬ目が笑う 渡部 升
シーソーの相手を探す適齢期 渡部 升
一行の詩を持ち帰る北の旅 渡部 升
一行の白をたたんで喪の夜明け 渡部 升
幸せを夫と分けあう冬暮 渡部 升
九時過ぎて始まる妻の長電話 渡部 升
嫁がせる涙を捨てて来た東京 渡部 升
飲めば愚痴飲めば案ずる性を持ち 渡部 升
冬眠のもぐらが動く老いの春 渡部 升

春の灯のふくらみに居て人を得つ 安田 龍泉
孫描くクレヨン春光得て多彩 三浦 緑葉
居酒屋は土工の匂い春灯下 伊藤 芳穂
口紅も換えても見たり外は春 沢田石和子
後継もなき老なれや種浸す 石井 溪堂
春愁や言い争いて庭に佇つ 北島緋佐子
春装も転任の酔ひに疲れけり 猿田 天鳴
弱き胃に詫びつつ喰むや桜餅 小林 与根
父を呼ぶ声かん高し木の芽垣 斎藤 諒一
雪困い解いて明るき庭をもつ 田中 芳朗
卒業や握手のぬくみ意を固め 本間 米吉
雛飾り願の多き聖少女 北島 温石
新社員の折目に浮く母情 伊藤 正蔵

6月 ごみ収集日

町内名	56年 6 月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	1	6	12	18	25	
新里町	1	6	12	18	25	
希望ヶ丘	1	6	12	18	25	
田町	1	6	12	18	25	
上田町	1	6	12	18	25	
今田町	1	6	12	18	25	
御蔵町	1	6	12	18	25	
小池町	1	6	12	18	25	
川原町	1	6	12	18	25	
新番町	2	7	15	20	26	
古川町	2	7	15	20	26	
紀久栄町	2	7	15	20	26	
中川原町	2	7	15	20	26	
館	2	7	15	20	26	
岩城町	2	7	15	20	26	
築地町	3	10	16	22	27	
畑町	3	10	16	22	27	
新畑崎	3	10	16	22	27	
仲町	5	11	17	23	30	
長町	5	11	17	23	30	
米沢町	5	11	17	23	30	
雀館	5	11	17	23	30	
昭辰町	5	11	17	23	30	
大川一区	5	11	17	23	30	
二区	5	11	17	23	30	
三区	5	11	17	23	30	
四区	5	11	17	23	30	
馬場目	4	13	24			
富津内	4	13	24			
内川	4	13	24			
大川(本村以外)	9	19	29			
面湯	9	19	29			
馬川	9	19	29			

●直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(☎ ② 3958)

休 8日・14日・21日・28日

< 直接搬入料 >

2 トン未満積車 1回につき 600円
2～4 トン未満 1回につき 900円
4 トン以上 1回につき 1,350円
※ 収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ
収集日程表を必ず見るようにしてください。

焼却場にゴミを直接搬入する場合は、4月1日
から直接搬入券が必要になりました。この搬入券は、
焼却場入口にある館岡商店(☎ 2-3367)で売
っておりますのでご利用ください。

- ・ 二十五日 (学級費の残りを寄付したもの) 二年 C組
- ・ 二十五日 五千円 古川町 佐藤 友治
- ・ 二十八日 (年金委員の報酬を寄付したもの) 丙 種 六月十九日
- ・ 五万円 大川一区 浅野慶一郎
- ・ (亡母ナヲ様の香典返しとして) 四月三日 雑巾 一五〇枚 富田 阿部 金蔵
- ・ (亡母イト様の縫いあげたもの) 九日 四万円 雀館 館岡ツルエ
- ・ (亡夫春蔵様の香典返しとして) 〇(二八)にお問い合せください。

▽期 日 昭和五十六年度一回目の危険物
取扱者試験は、七月二十三日(木)
に予定されています。これに伴う
講習会は次のとおりです。

▽期 日 六月二十二日・二十三日
乙種四類 丙 種 六月十九日

▽会 場 秋田県正庁 秋田市山王四丁目

▽申し込み期間 五月二十七日～六月三日
(消印有効)

受講申込用紙、講習会に使用す
るテキストの用紙は消防署にあり
ます。詳しいことは消防署(☎ ②
〇(二八))にお問い合せください。

循環器検診は
町で千四百円補助
6月1日から
循環器検診を六月一日から町内
を巡回して行います。検診の申し
込みをした方は、必ず受診するよ
うにお願いします。
また、申し込みをしなかった方
も検診をうけられますので、お近



消費者の日 5月30日

【おしらせ】

- くの検診場所へ指定時間内におい
てくださいます。検診場所は、受診者
の地区とは関係ありませんので、
都合のよい場所で受診してください。
受診料金は、町で千四百円を補
助しますので七百円となります。
検診内容と日程は次のとおりで
す。
- ・ 検診内容
①問診 ②身体測定 ③尿検査
④血圧測定 ⑤心音図検査
⑥心電図検査 ⑦眼底検査
- ・ 6月1日(月)
前9、00～11、00
大川多目的集会所
(旧大川出張所)
後1、00～2、30
石崎部落公民館前
・ 6月2日(火)
前9、00～11、00
上樋口部落公民館
- ・ 6月3日(水)
前9、00～11、00
五城目役場前
後1、00～2、30
五城目町農協前
・ 6月4日(木)
前9、30～11、30
杉沢部落公民館
後1、00～2、30
恋地部落公民館前
・ 6月5日(金)
前9、30～11、00
馬場目児童館前
後1、00～2、30
馬川公民館前
- ・ 6月8日(月)
前9、30～11、00
野田部落公民館前
後1、30～2、30
浦横町公民館前
- ・ 6月9日(火)
前9、30～11、00
富津内児童館前
後1、00～2、30
落合部落公民館前
・ 6月10日(水)
後1、00～2、30
湯ノ又部落公民館前
・ 6月11日(木)
前9、30～11、00
末広繊維工場前
後1、00～2、30
末広繊維工場前
- ・ 6月12日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月13日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月14日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月15日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月16日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月17日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月18日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月19日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月20日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月21日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月22日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月23日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月24日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月25日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月26日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月27日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月28日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月29日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月30日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月31日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月32日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月33日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月34日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月35日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月36日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月37日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月38日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月39日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月40日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月41日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月42日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月43日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月44日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月45日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月46日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月47日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月48日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月49日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月50日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月51日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月52日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月53日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月54日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月55日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月56日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月57日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月58日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月59日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月60日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月61日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月62日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月63日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月64日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月65日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月66日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月67日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月68日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月69日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月70日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月71日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月72日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月73日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月74日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月75日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月76日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月77日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月78日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月79日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月80日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月81日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月82日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月83日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月84日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月85日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月86日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月87日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月88日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月89日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月90日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月91日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月92日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月93日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月94日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月95日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月96日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月97日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月98日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月99日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月100日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月101日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月102日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月103日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月104日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月105日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月106日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月107日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月108日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月109日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月110日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月111日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月112日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月113日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月114日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月115日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月116日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月117日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月118日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月119日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月120日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月121日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月122日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月123日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月124日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月125日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月126日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月127日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月128日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月129日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月130日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月131日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月132日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月133日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月134日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月135日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月136日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月137日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月138日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月139日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月140日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月141日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月142日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月143日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月144日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月145日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月146日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月147日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月148日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月149日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月150日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月151日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月152日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月153日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月154日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月155日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月156日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月157日(水)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月158日(木)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月159日(金)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月160日(土)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月161日(日)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月162日(月)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城目町役場前
- ・ 6月163日(火)
前9、30～11、00
五城目町役場前
後1、00～2、30
五城